

# 道徳科学習指導案

令和4年10月 第4学年 指導者 飯野 聡子

1 主題名 相手の気持ちに寄り添って 内容項目B－(6) 親切、思いやり

2 教材名 「ゆうきの心配」 (出典:「新訂 新しいどうとく4」東京書籍)

## 3 主題設定の理由

### (1) ねらいとする道徳的価値について

よりよい人間関係を築く上で、自分のことばかり考えるのではなく、相手に対する思いやりの心を持ち親切にすることは不可欠である。思いやりとは、相手の気持ちや立場を自分のことに置き換えて押し量り、相手に対してよかれと思う気持ちを相手に向けることである。励ましや援助をすることだけではなく、時には相手のことを考えて温かく見守ることも親切な行為としての表れである。相手のことを親身になって考え、親切な行為を行おうとする心情を育てることが大切である。

### (2) 児童の実態 (男子15名 女子15名 計30名)

本学級の児童は、友達が困っているときに思いやりの気持ちを持ち、親切にできる児童が多い。しかし、相手の気持ちを深く理解しようとせず、他の人々の感じ方や考え方が自分と同様であると思い込んで自分が思う親切を押し付けてしまうような様子も見られる。そこで、相手に対する思いやりの心を育て、相手の置かれている状況や気持ちを考えて親切にしようとする心情を育てたい。

### (3) 教材について

本教材は、サッカーで友達とぶつかってけがをした「まことさん」を心配して声を掛けた「ゆうき」が、ぶつかった友達のためにけがをかくしたい「まことさん」の気持ちに寄り添い、その場をそっと去るといいう話である。本教材を通して、思いやりの心をもって親切にすることは、単に手を差し伸べることだけではなく、相手の気持ちに寄り添い温かく見守ることもあるということに気付かせたい。

## 4 指導方針

### ○本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつために

- ・親切、思いやりについて考え、具体的な場面を想起することで、児童が自分自身の問題として受け止められるようにする。

### ○教材を通して、道徳的価値の追求を行うために

- ・1人1台端末を活用した「気持ちカード」に自分の考えを文章で簡単に入力し、背景の色を変えて自分の考えを明確に示すことで、友達と意見交流して多様な考え方に触れることができるようにする。

### ○道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについても一度考えるために

- ・1人1台端末を活用した「広げるシート」で道徳的価値に対するクラス全員の考えを共有し、学習支援ソフトのリアクション機能を活用した交流活動を通して、道徳的価値について考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

## 5 研究との関わり

児童が道徳的価値を理解し、自己の生き方についての考えをもつことができるようにしたい。そのために、教材を通して道徳的価値について考える場面では気持ちカードを活用して自分の考えを明確にして交流し、めあてについても一度考える場面では広げるシートを活用してクラス全員の道徳的価値に対する考えを共有することで、様々な考え方があることに気づき、考えを深めさせたい。

6 本時の展開

(1) ねらい

相手の置かれている状況や気持ちを考え、相手に寄り添い親切にしようとする心情を育てる。

(2) 準備

教師：大型モニター・教科書・教師用端末

児童：教科書・ノート・1人1台端末

(3) 展開

時間	学習活動と発問 ○発問 ◎中心発問 ◇補助発問 ☆ICT活用	・想定する児童の意識	◎研究上の手立て ○支援及び指導上の留意点
導入 5分	1 本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつ。 ○思いやりとはどのようなことだろう。 ◇例えばどのようなことがありましたか。	・相手に優しくすること。 ・相手の気持ちを考えること。 ・算数で分からないところを教えてもらった。 ・一緒に遊んであげた。	○自分たちの日常生活の中で親切、思いやりについて考えられるよう、具体的な場面を想起させる。
[めあて] 思いやりとはどのようなことをいうのでしょうか。			
展開 ① 5分	2 教科書の教材文の範読を聞く。 ○ゆうきさんはけがをしたまことさんを見て、どう思いましたか。	・まことさん、大丈夫かな。 ・本当は痛いかな。心配だ。 ・みんなに知られたくないのかな。	○教材文の内容が理解しやすいように場面絵を提示し、主人公がその場を去った思いに気付けるよう、まことさんを心配する主人公の気持ちを押さえる。
展開 ② 15分	3 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。 ◎その場を去ったゆうきさんの行動は思いやりがあると言えますか。 赤→言える。 青→言えない。 緑→どちらでもない。 ☆「気持ちカード」を持って意見の交流をする。  ○なぜ二人はVサインをしたのだろう。	(赤) ・まことさんはけがをみんなに知られたくないから。 ・まことさんの気持ちを考えたから。 (青) ・けがをしているなら、早く手当てしたほうがよい。 ・正直に言ったほうがよい。 (緑) ・一郎さんに分からないように大人に相談したほうがよい。 ・思いが通じたから。 ・そっと見守るほうがまことさんのためだ。	◎自分の意見を明確に示せるように「気持ちカード」の背景の色を変え、理由を簡単に書かせる。 ◎意見交流をする際に生かせるように、自分との相違点に着目することを確認する。  ○Vサインの裏にある心を問うことで、児童の考えを深められるようにする。

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ちが分かってもらえて嬉しい。</li> </ul>	
展開 ③ 13分	<p>4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについてもう一度考える。</p> <p>○「思いやり」とはどのようなことをいうのでしょうか。</p> <p>☆「広げるシート」を使って意見を共有する。</p> <p>○「なるほど」と思った意見に「いいね」ボタンを押そう。</p> <p>◇なぜその意見にボタンを押しましたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手のことを考えて助けてあげること。</li> <li>・相手が何をしてほしいか、考えること。</li> <li>・友達の「相手の気持ちを考えて時には何もしないこともある」という考えは思い付かなかった。なるほどな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎友達の様々な考えに触れる事ができるよう、「広げるシート」に考えを入力させ、全員の意見を共有する。</li> <li>◎児童の類似した考えが分かるように、シートを整理する。</li> </ul>
終末 7分	<p>5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。</p> <p>○振り返りをノートに書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何かしてあげることだけでなく、友達の気持ちを考えることが大切だと分かった。これからは相手の気持ちを考えて行動したい。</li> <li>・泣いている友達に「どうしたの」と何回も聞いたことがあったけれど、今度からはそっと見守りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○導入で児童から出た意見を取り上げることで、自分のこととして考え、振り返られるようにする。</li> <li>○よりよい自己の生き方についての考えをもてるように、「今まで自分」「これからの自分」「友達の意見から」という視点で振り返らせる。</li> </ul>

#### (4) 評価の観点

- 自分の思いをしっかりとペアや全体で考えを互いに伝え合うことで、自分自身との関わりの中で深めているか。
- 道徳的価値に対する考えを共有し、交流することで、親切、思いやりについて多面的・多角的に捉えようとしているか。

#### (5) 板書計画

<p>ゆうきの心配</p> <p>思いやりとはどのようなことをいうのでしょうか。</p> <p>思いやりって・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・算数で分からないところを教えてもらった。</li> <li>・一緒に遊んであげた。</li> </ul>	<p>場面絵</p> <p>場面絵</p> <p>場面絵</p>	<p>その場を去ったゆうきさんの行動は思いやりがあると言えますか。</p> <p>(赤)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まことさんはけがを知られたくないから。</li> <li>・まことさんの気持ちを考えているから。</li> </ul> <p>(青)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早く手当てしたほうがよい。</li> <li>・正直に言ったほうがよい。</li> </ul> <p>(緑)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一郎さんに分からないように大人に相談した方がよい。</li> </ul>	<p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの自分</li> <li>・これからの自分</li> <li>・友達の意見から</li> </ul>
--	----------------------------------	---	---